

沖縄県立職業能力開発校の現状と課題



1.職業能力開発校における職業訓練の実施状況

施設内訓練として、技能系を中心に若年者及び離転職者の職業訓練、障がい者の職業訓練、企業在職者の技能向上を行う職業訓練を実施（21コース、定員491名）。

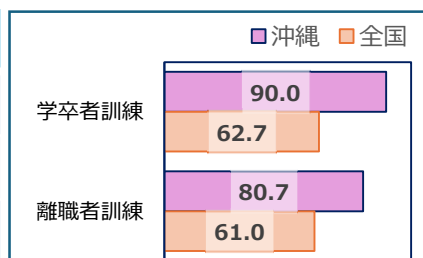
委託訓練については、民間教育訓練機関を活用し、医療、介護、IT、観光、理美容など民間での需要が高い分野を中心に多様な職業訓練を提供（82コース、定員1,229名）。

障がい者の職業訓練については、施設内訓練に加え、障がい者の就労支援のノウハウを有する社会福祉法人、委託企業など多様な教育訓練資源を活用した職業能力を実施（施設内3コース、定員49名、委託14コース、定員31名）。

【職業訓練（学卒者・離職者訓練）の実施状況 R6年度】

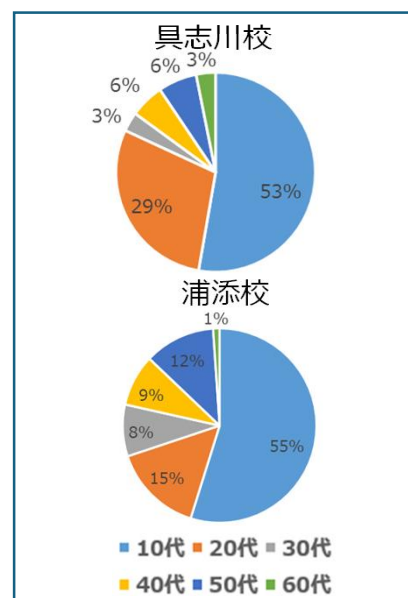
	定員	入校数	充足率	修了者数	就職率
具志川校	235	194	82.6%	104	92.3%
浦添校	150	106	70.7%	68	94.1%
合計	385	300	77.9%	172	93.0%

【定員充足率 R5】

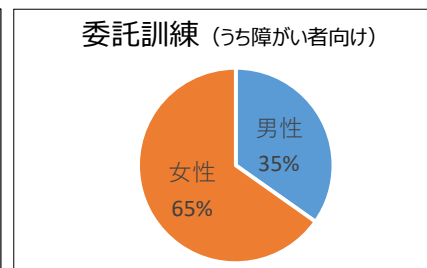
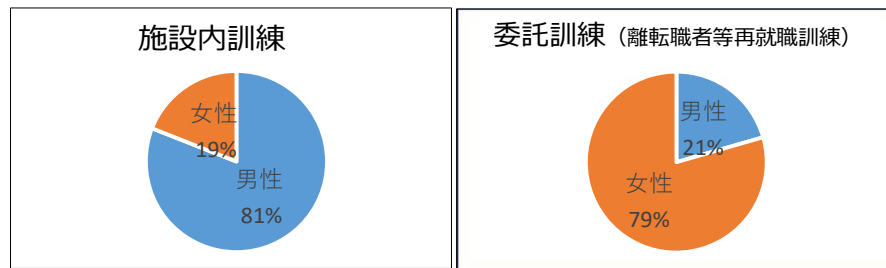


【令和5年度公共職業訓練等実績より作成】

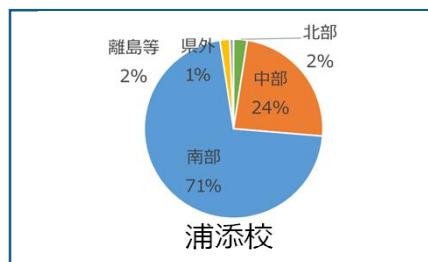
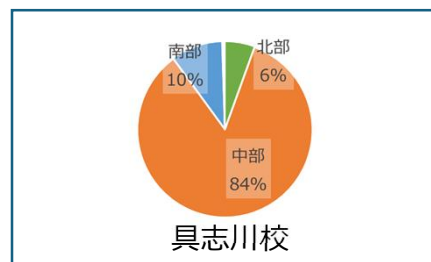
【訓練生の年齢分布】



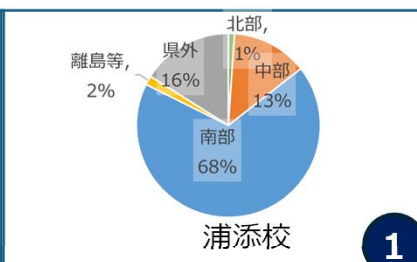
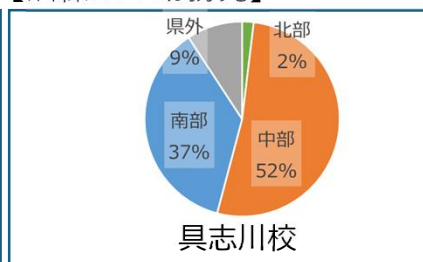
【職業訓練の男女内訳 R6】



【訓練生の出身地】



【訓練生の勤務先】



2.ヒアリング、アンケート調査から見てきた課題

(1) 民間教育訓練機関とのカリキュラムの重複

- ・国、民間との役割分担については、「沖縄県地域職業能力開発推進協議会（国・県共催）」を開催し、訓練の重複を避け、連携強化を図るための情報共有を実施
- ・民間で実施可能でかつ合理的であると見込まれる訓練は、民間教育訓練機関を活用した委託訓練を実施（平成25年から令和6年度までに902コース委託訓練として実施）
- ・施設内訓練と在職者訓練の一部は、民間教育訓練機関との競合を指摘する声

【競合が指摘される訓練科】

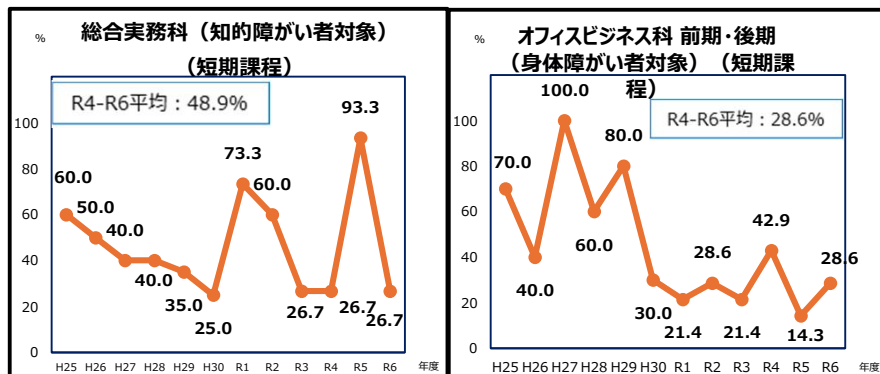
- 施設内訓練：自動車整備科、電気システム科、メディアアート科、情報システム科、オフィスビジネス科
- 在職者訓練：建設機械整備科、建設車両運転科

(2) 定員充足率の低い訓練科

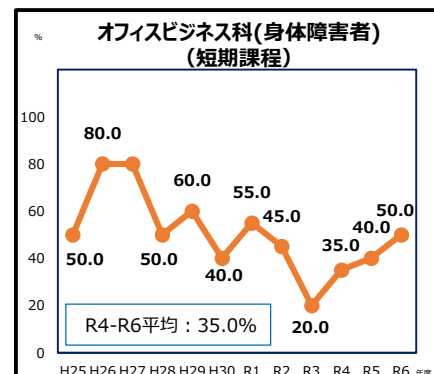
- ・障がい者訓練（知的、身体）については、障がいの特性に配慮しながらカリキュラムの見直し等を進めるなど、訓練内容の充実を図っているが、特別支援学校の就労支援の充実や障がい者雇用の法定雇用率の引上げなどの影響により、訓練需要が低下
- ・左官仕上等の基礎技術を学ぶ訓練については、相対的に訓練需要が低下

【定員充足率の低い訓練科】

身体障がい者向け訓練科（総合実務科、オフィスビジネス科）、エクステリア科



具志川校



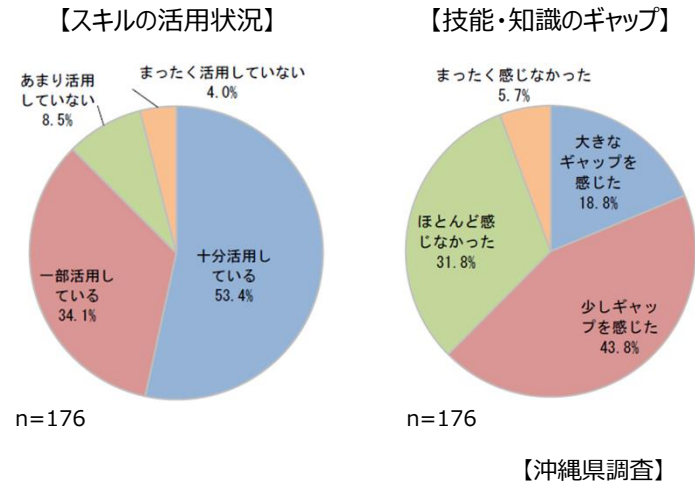
浦添校

2.ヒアリング、アンケート調査から見てきた課題等

(3) 現場人材の育成に資するカリキュラムの見直し・運営

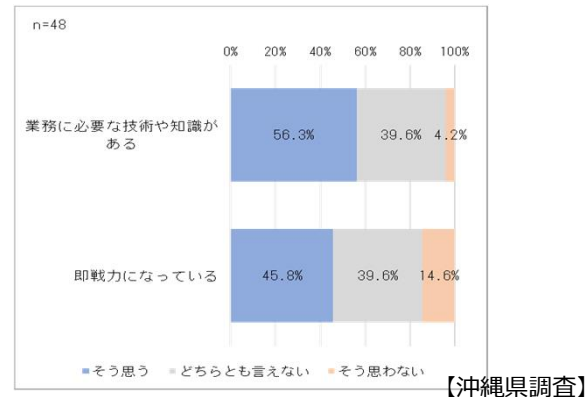
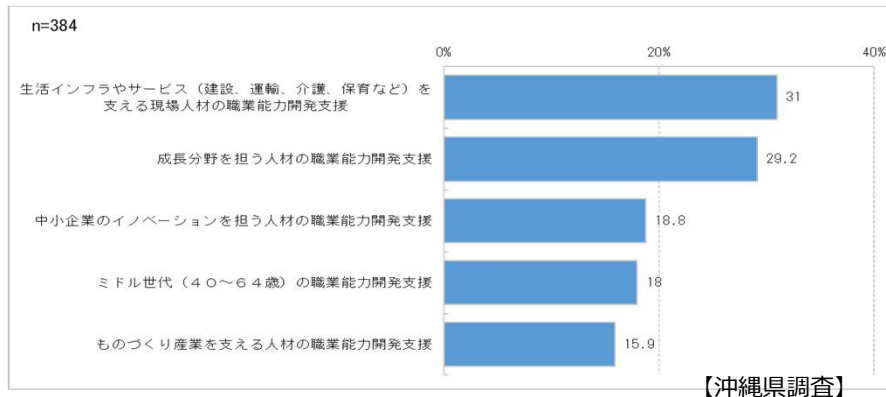
ア 修了生の声

- 職業能力開発校の修了者を対象としたアンケートにおいて、約9割が職業能力開発校で習得した技能・知識が現在の仕事で活用していると回答
- 一方で、約6割が就職後、仕事で求められる技能・知識と自信がもっている技能・知識とのギャップを感じたと回答



イ 産業界の声

- 県内企業を対象としたアンケートにおいて、公共職業能力開発施設に期待する役割として、生活インフラやサービス（建設、運輸など）を支える現場人材の職業能力開発支援が最も高い
- 県内企業ヒアリングからは、次のような意見
 - 企業と連携して、「教える場、教える人材を確保する」、「企業ニーズを拾い上げ一緒にカリキュラムを考える」、などの仕組みを考えるべき
 - 人手不足の中、現場では一人で何役もこなせる多能工人材が求められている
 - 大規模投資に頼らず「企業設備の共同活用」や「仮想空間（シミュレーション）による安全・反復学習など、民間が協力できる機会を活用し学習機会を増やすべき など



3.施設・設備、指導員体制の現状と課題

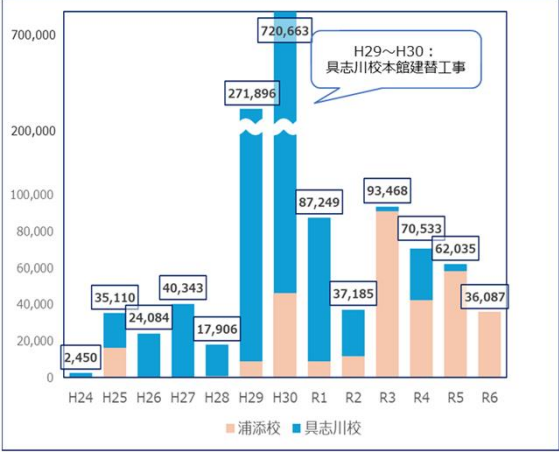
○施設・設備の現状

- ・施設については、具志川校、浦添校の校舎及び実習場等のほとんどが、築40年以上経過
- ・平成30年度に具志川校本館の建替を実施。その他施設は、個別施設計画に基づき計画保全を行い、長寿命化を推進
- ・簡易調査（具志川10棟、浦添6棟）において、建替を要しないものの、躯体のひび割れや格子の腐食など、早急な修繕を要するとの結果
- ・実習用機器については、時代ニーズに適合した質の高い訓練を実施するため毎年度、導入・更新を実施

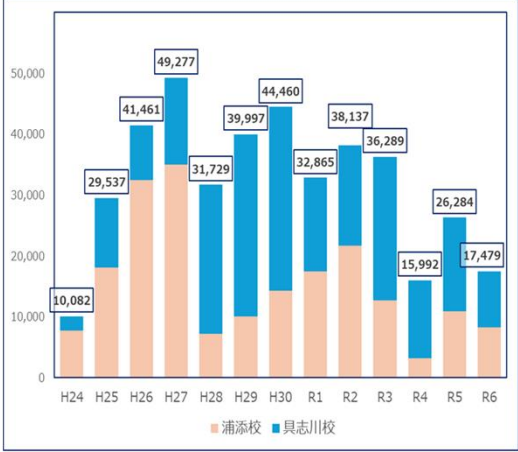
【施設の築年数一覧】

学校名	施設名	築年数
具志川校 (全10棟)	本館	6
	別館	49
	自動車整備科第1実習場	50
	自動車整備科第2実習場	50
	自動車整備科供用実習場	43
	電気システム科第1実習場	42
	電気システム科第2実習場	49
	メディア・アート科実習場	49
	造園ガーデニング科実習場	49
	体育館	47
浦添校 (全6棟)	管理棟	45
	電気工事科・エクステリア科実習棟 及び機械工作室	45
	自動車整備科実習棟	45
	配管・建物設備科及び溶接・板金 塗装科実習棟	45
	建設機械整備科実習棟	44
	体育館	45

【工事関連経費】



【機械器具費】



○指導員体制

- ・原則として、1クラス3人体制で実施（職員（正職員又は任期付）定数2と非常勤1）
- ・訓練科によっては、欠員があり十分な指導体制とは言えない状況（配置基準は満たしているものの、指導員の資質向上に向けた研修への参加や、ワークライフバランスのとれた職場環境整備の面で課題がある）

【訓練指導員の配置状況】

	職員			非常勤講師		
	定数	現数 (うち任期付)	欠員	定数	現数	欠員
具志川	19	15 (1)	4	11	7	4
浦添	14	13 (1)	1	7	6	1
合計	33	28 (2)	5	18	13	5